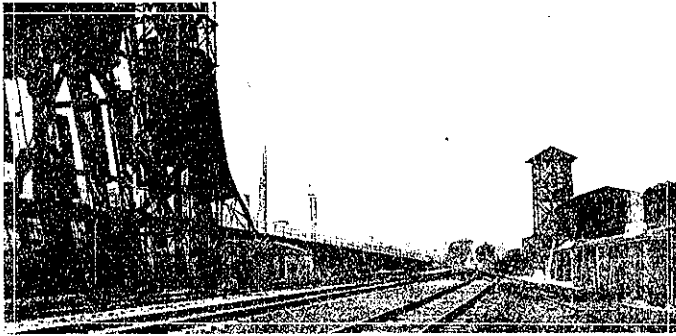


カー・ダムパーの作業を敏速ならしむる カー・レターダー

(Car Retarders Facilitate Car Dumper Operations, Railway Age, Feb. 15, 1930.)

New York Central 鐵道は最近 Ohio 州 Toledo dock に珍しい装置を完成した。それは General Railway Signal 會社の全電式カー・レターダー (all electric car retarder) と電氣轉轍器とであつてカー・ダムパー (car dumper) で石炭車を敏速に取扱ふ所の装置である。

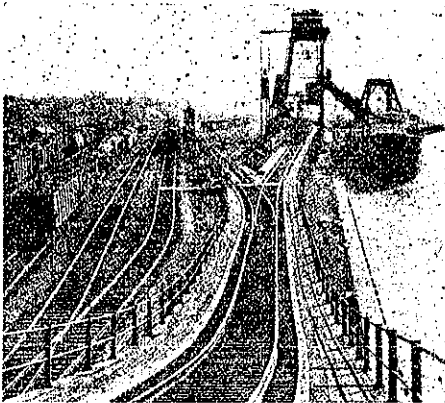
第一圖



Kentucky と West Virginia から出る大量の石炭は New York Central 鐵道とその連絡線によつて運ばれ Toledo dock の近くにあるヤードに出される。

このヤードには構内線と平行して且つその中心

第二圖



が一致してゐる軌間3呎の軌道が設けられてあつて、その上を走る小さな電氣機關車がカー・ダムパーに行く斜路の下迄積炭車を押して行くのである。

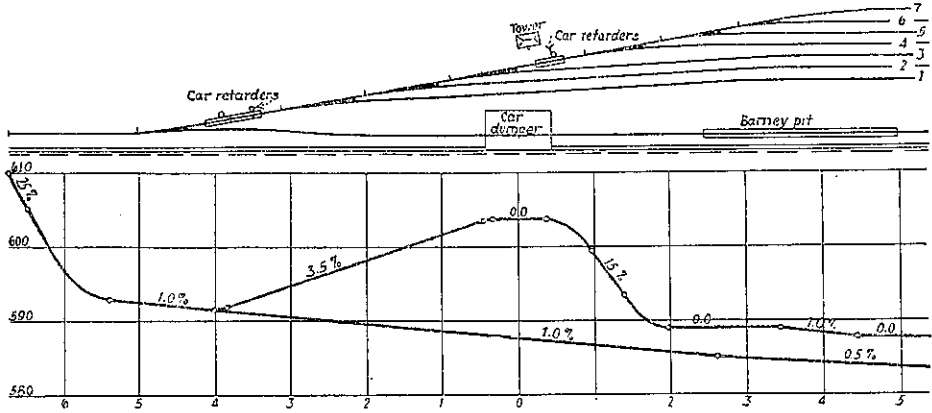
そしてその斜路で電氣ミュール (electric "mule" or "barney") が一時に1輛宛炭車をカー・ダムパーの床面迄押上げ、そこで車が軌條に緊締せられる迄1組のカー・レターダーが車を止めて置くのである。

車は扛上顛倒せられてから床上に歸り緊締を緩めて制動手 (rider) を付けずに反對側の斜路を轉走しスプリング・スウッチ (spring switch) を通りキック・バック (kick-back) 斜路へ車のモーメントがある間上つて行く。このキック・バックは 25% の勾配に作られてある。

(第三圖参照)

そして車のモーメントがなくなると車は反對方向に歸つて來てスプリング・スウッチ

第三圖



を通り空車線に入る。その速度は普通の仕譯線の作業と同様な方法で全電式カー・レターダーにより調節せられる。

電氣轉轍器は近所の取扱所から動かされて車を各線に分ける。

この稀なレターダー方式の應用は船積の速さを増大すると同時に轉轍手や制動手 (car rider) が不用になるから取扱費を減少した。

この工事は New York Central と Ohio Central 鐵道の技師長 J. A. Stocker 氏の監督の下に施行され、設備の取扱作業は Ohio 州 Toledo の Ashtabula & Buffalo Dock 會社の取締役 F. H. Burnett 氏が管理してゐる。(中川一美 抄譯)